

# 総務委員会資料

## 1 所管事務の調査（報告）

### （6）令和7年度川崎市防災訓練の実施結果について

資料1 令和7年度川崎市防災訓練の実施結果について

令和8年3月12日  
危機管理本部

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

## 1 令和7年度川崎市防災訓練実施計画について

「令和7年度川崎市防災訓練実施計画」等に、目的や実施項目等を定め、次の区分により各々実施することとしています。

- (1) 令和7年度川崎市総合防災訓練（第46回九都県市合同防災訓練川崎市会場）
- (2) 各区の総合防災訓練
- (3) その他の訓練

## 2 川崎市防災訓練の実施結果について

### (1) 令和7年度川崎市総合防災訓練（第46回九都県市合同防災訓練川崎市会場）

#### ア 実施日時

令和7年8月31日（日） 9時00分～12時00分

#### イ 訓練場所

・市立川崎総合科学高等学校 ・多摩川河川敷

#### ウ 訓練参加機関

・川崎総合科学高等学校避難所運営会議、市及び防災関係機関等 約500人  
・一般参加者（見学者含む。） 約300人

合 計 約800人

#### エ 訓練目的

首都直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民・自主防災組織・企業・市及び防災関係機関が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するとともに、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図ることを目的とします。



出典：地理院タイルに訓練会場の位置を追記

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

## オ 訓練内容

### (ア) 「大地震発生から数時間」を想定した訓練 (多摩川河川敷)

発災から数時間後の市街地において、市及び防災関係機関が相互に連携して、情報収集や道路啓開・救出救護訓練を実施しました。  
【訓練】情報収集訓練、道路啓開訓練、緊急交通路確保訓練、応急救護所訓練、救出救護訓練、一斉放水訓練、ライフライン復旧訓練



情報収集訓練



緊急交通路確保訓練



道路啓開訓練



応急救護所訓練



救出救護訓練

### (イ) 「大地震発生から3日後」を想定した訓練 (市立川崎総合科学高等学校)

発災数時間後及び発災から3日経った避難所を想定し、避難所開設・運営訓練では、トイレの使用可否・最終ますの確認訓練や医療・福祉訓練・緊急物資輸送訓練・燃料補給訓練などを実施しました。

【訓練】避難所開設・運営訓練、トイレ対策訓練、区本部訓練、避難所医療訓練、二次避難所移送訓練、救援物資緊急輸送訓練 (受入) 燃料補給訓練、災害ボランティアセンター運営訓練、炊き出し訓練



避難所開設・運営訓練



トイレ対策訓練



避難所医療訓練



二次避難所移送訓練



救援物資緊急輸送訓練



燃料補給訓練

### (ウ) 展示・啓発 (市立川崎総合科学高等学校)

防災関係機関、協定締結団体等による展示・啓発や、一般参加者による初期消火活動、応急救護等の体験型訓練を行いました。

【展示・啓発】消防署・消防団の活動紹介、災害時のトイレ対策、マンホールトイレの仕組み、災害時のごみ、女性目線の防災  
川崎市薬剤師会、住宅の耐震化、災害伝言ダイヤル、電気の防災対策、ペットの同行避難、横浜地方気象台、災害時の食事  
聴覚障害者の災害対策、災害時口腔ケア、多言語支援センター、熱中症対策

【体験型訓練】初期消火訓練、火災避難訓練、応急救護訓練、地震体験、降雨体験、応急給水訓練、土のう・水防工法の作成体験  
VR (仮想現実) 体験



災害時のトイレ対策



女性目線の防災



初期消火訓練



地震体験



降雨体験



# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

## カ 成果及び課題等

### (ア) 「大地震発生から数時間」を想定した訓練（多摩川河川敷）

発災直後の消防ヘリによる情報収集や、防災関係機関による救出活動、川崎DMATによる救護活動など、市及び防災関係機関、協定締結団体等の連携した動きにより、それぞれの役割分担の確認を行うとともに、公助による各種活動を一連の流れで示すことができました。訓練後の振り返りで、道路啓開活動を行う現場の瓦礫の量を増やすなど、訓練現場のリアリティと訓練内容を充実させるための提案を参加者からいただいており、次回以降の課題としています。

### (イ) 「大地震発生から3日後」を想定した訓練（市立川崎総合科学高等学校）

・避難所開設・運営訓練では、発災から3日後の避難所において、市医師会等から派遣された医療チームによる診察や、特別に配慮が必要な要支援者の二次避難所への移送の訓練を行い、神奈川県災害派遣福祉チーム（神奈川DWAT）も今回初めて参加しました。また、支援物資受入訓練では、運送事業者により避難所に届けられた物資を職員と住民が荷下ろし・仕分けするフローを実地に確認しました。

・トイレ対策訓練では、避難所の水洗トイレが使用可能な状態かを調べるために、トイレから色水を流し、最終ますまでの下水管に損傷がないことを確認する活動を行いました。トイレ対策は発災初期における対応が極めて重要であることから、最重点項目のひとつとして継続的に訓練を行ってまいります。

### (ウ) 「展示・啓発」（市立川崎総合科学高等学校）

展示・啓発では、防災関係機関・企業等による様々な観点からの啓発活動や体験型訓練が行われ、このうちトイレ対策については、危機管理本部・上下水道局・環境局が連携して啓発ブースを立ち上げました。来場者が模擬の便器に携帯トイレを設置する体験コーナーは盛況で、市民の高い関心に応えるため、災害時のトイレ対策については、今後も様々な場所や手法を用いて啓発を行ってまいります。

### (エ) まとめ

今回の訓練では、大地震発生直後の救出救護訓練と避難所開設・運営訓練、さらにライフライン復旧訓練等を実施し、自助・共助・公助のそれぞれの取組の重要性等を参加者同士が共有することができました。今後も企画段階から市民や防災関係機関、協定締結団体等と連携して訓練を作りあげるプロセスも含めて、地域防災力を一層高める機会としてまいります。

一方、課題としましては、訓練参加者からのアンケートで、土のうの作成方法や携帯トイレの使用方法和必要な備蓄量について、市民から多くの関心が寄せられたことと、在宅避難の訓練実施の要望など、災害への備えに対して前向きな御意見を多数いただきました。また、「真夏にエアコンのない体育館を避難所とするのは二次災害につながる」、「訓練を通じて真夏の災害対応の過酷さを感じた」といった、酷暑に対する対応について、訓練の実施方法・時期も含め多くの御意見をいただきました。訓練当日は、多摩川河川敷・市立川崎総合科学高等学校それぞれの会場において、クールテントの配置、飲料水の配布等の暑熱対策を講じたこともあり、救急搬送等が必要となる事案はありませんでしたが、今後も同様の気候のもとで訓練を実施することは、熱中症をはじめとする安全上のリスクを伴うことから、令和8年度は開催時期を10月に移行することを計画しています。

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

## (2) 各区の総合防災訓練

	日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
川崎区	<b>第1回</b> 【日時】 令和7年10月4日(土) 8時30分～11時30分 【会場】 渡田小学校	川崎市直下型地震の発生及び大雨や台風に加え、地域、行政、関係機関等が連携を図り、発災後の迅速な初動対応、相互の顔が見える体制づくりのため、実践的な参加型訓練として実施することで、災害に立ち向かう体制の構築や地域防災力の向上を図る。 また、地震による津波に備え、発災後の迅速な高台避難のため、実践的な参加型訓練を実施する。	<b>【訓練】</b> ①津波避難訓練 ②要援護者避難搬送訓練 ③在宅避難支援訓練 ④水消火器初期消火訓練 ⑤煙体験 ⑥応急救護訓練(三角巾) ⑦心肺蘇生法訓練(AED) ⑧土のう積み訓練 ⑨NET119・通報訓練 ⑩地震体験訓練 ⑪応急給水訓練 ⑫トイレ使用可否最終確認訓練 <b>【啓発】</b> ①津波防災講話啓発 ②消防車両展示 ③ちびっこ消防服 ④消防署・団の広報・啓発 ⑤建物耐震対策啓発 ⑥災害時トイレ啓発 ⑦復旧工作車の展示 ⑧災害時ごみ対策啓発 ⑨災害時口ピア啓発 ⑩感震ブレーカー普及啓発(東京電力) ⑪ライフライン防災啓発(東京ガス) ⑫男女共同参画の視点から考える日頃の備え ⑬災害時ペット同行避難について ⑭聴覚障がいと防災について ⑮在宅避難啓発(非常食や蓄電池等展示)	<b>【成果】</b> 津波避難訓練では、渡田小学校やイトーヨーカドー川崎店の協力を得て訓練を実施し、要援護者搬送時の注意点や適切な避難ルートの把握ができた。また、避難所管内の高層マンションにおいて在宅避難支援訓練を実施し、食料や物資等を避難所から搬送する手順について確認できた。防災講話では東日本大震災の語り部による津波の実体験を踏まえた話があり、参加者の津波災害に対する意識を高めることができた。震災時のトイレ問題について最終確認の確認方法や携帯トイレの使用方法等、体験型の訓練を実施し、災害で実際に使える知識や技術を向上させた。 <b>【反省点】</b> 在宅避難支援訓練において、支援物資を最終的にどのような方法でマンション住民に配布したかの確認までは行わなかったため、次回以降は全体を把握できるような人員を配置する必要がある。また、津波避難訓練と総合防災訓練の開始時刻が違ってくることを来場者に伝わっておらず、早く来てしまう方もいたためアナウンスの方法を考える必要がある。 <b>【今後の取組】</b> 家庭内備蓄等の重要性を啓発し、家で過ごせる人は在宅避難をすることでストレス等が軽減できるとともに、避難所生活を余儀なくされる被災者の生活の質の向上も図ることができるといって啓発を行っていく。また、津波避難施設に指定されている民間施設を使用する避難訓練を継続的に行うことで、地域住民に津波災害に対する啓発を行っていく。
	     	津波避難訓練      在宅避難支援訓練      NET119・通報訓練      災害時トイレ啓発      男女共同参画の視点から考える日頃の備え      聴覚障がいと防災について		
<b>第2回</b> 【日時】 令和8年1月31日(土) 10時00分～11時30分 【会場】 東大島小学校	川崎市直下型地震の発生及び大雨や台風に加え、地域、行政、関係機関等が連携を図り、発災後の迅速な初動対応、相互の顔が見える体制づくりのため、実践的な参加型訓練として実施することで、災害に立ち向かう体制の構築や地域防災力の向上を図る。	<b>【訓練】</b> ①避難所開設・運営訓練 ②初期消火訓練 ③煙体験 ④地震体験訓練 ⑤心肺蘇生法訓練(AED) ⑥応急救護訓練(三角巾) ⑦土のう積み訓練 ⑧応急給水訓練 ⑨トイレ使用可否最終確認訓練 <b>【啓発】</b> ①消防車両展示 ②ちびっこ消防服 ③火災予防広報 ④災害時トイレ対策啓発 ⑤災害ごみ対策啓発 ⑥災害時口ピア啓発 ⑦災害ボランティアセンターに関する普及啓発 ⑧ボランティアナース啓発 ⑨災害時ペット同行避難啓発 ⑩男女共同参画の視点から考える日頃の備え	<b>【成果】</b> 避難所開設・運営訓練では受付の開設、プライベートテントや仮設トイレの組立等を町内会の方々に実際にやっていただくことで避難所運営能力が向上した。さらに、消火ホースキットを使用した実際の放水やパケツリレーで初期消火の重要性を確認できた。また、各種体験及び啓発により、日頃から備えることの大切さや災害時における行動等についての意識付けができた。 <b>【反省点】</b> 避難所開設・運営訓練の開始が想定以上に時間を要し、スタンプラリーで待ち時間ができてしまった。それぞれのブースの開始時間をチラシに記載する等の工夫をする必要がある。 <b>【今後の取組】</b> 在宅避難の啓発を引き続き行っていくとともに避難所開設・運営訓練については、震災時に避難所に先着するのは町内会の方々であることの意識付けと、スターキット等を活用し避難所の設営を適切にできるよう避難所運営会議関係者と協力して訓練を行うことで、効果的な避難所の開設・運営につなげる。	
     	避難所開設・運営訓練      災害時トイレ対策啓発      災害ボランティアセンターに関する普及啓発      ボランティアナース啓発      災害時ペット同行避難啓発			

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点	
幸区	第1回	<p>【日時】 令和7年8月31日(日) 9時00分～12時00分</p> <p>【会場】 川崎総合科学高等学校 多摩川河川敷</p>	市総合防災訓練として実施しました。			
	第2回	<p>【日時】 令和8年2月1日(日) 9時00分～11時00分</p> <p>【会場】 河原町児童グラウンド</p>	<p>首都直下型地震をはじめとする大地震に備え、「在宅避難を考える」をテーマに、発災前、発災直後、発災1週間後のそれぞれのフェーズで必要となる各種訓練(家具の転倒防止や携帯トイレ取扱など)を実施し、地域の防災意識の高揚と災害対応力の向上を目指す。</p>	<p>【訓練】 ①避難・安否確認訓練 ②消火・救出訓練 ③給食訓練 ④家具転倒防止・ガラス飛散防止訓練 ⑤携帯トイレ取扱訓練 ⑥物資分配訓練 ⑦おうちで防災訓練(自宅で実施)</p> <p>【啓発】 ①感震ブレーカー啓発 ②防災ラジオ啓発 ③外国人対応啓発</p>	<p>【成果】 これまでの訓練では役割を分担し、担当部分のみを体験する形式が中心であったが、今回は在宅避難にテーマを特化したことで、消火・救出、給食、家具転倒防止・ガラス飛散防止、携帯トイレの取扱など、多様な訓練を参加者全員が幅広く経験することができた。これにより、住民一人ひとりが自宅で平時からの備えや、発災直後取るべき具体的な行動を理解し、在宅避難するための実践力が高まった。</p> <p>【反省点】 在宅避難の訓練は、自宅内で避難生活を送ることであるため、本来であれば自宅で各自が防災対策や訓練に取り組むことが最も有効である。今回もおうちで防災訓練のリーフレットを配布し、アンケートを実施したが、携帯トイレの実使用や水道を使わない生活をやるなど、生活への影響が大きい項目については訓練実施者数が少ない状況が見られたことが課題である。</p> <p>【今後の取組】 アンケート結果に基づき、在宅避難の訓練メニューを精査するとともに、自宅での在宅避難訓練の実効性向上に向けた取組を実施していく。</p>	
						
		消火・救出訓練	給食訓練	家具転倒防止・ガラス飛散防止訓練	携帯トイレ取扱訓練	物資分配訓練

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

	日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
中原区	<b>第1回</b> <b>【日時】</b> 令和7年5月11日(日) 10時00分～12時00分 <b>【会場】</b> 中丸子公園	風水害や地震等の多種多様な災害発生に備え、地域、関係機関、行政等が相互の顔が見える関係や地域で助け合える仕組みづくりを構築し、複数の自主防災組織が合同で訓練を行い地域の関係性を強化することで玉川地区の地域防災力の向上を図る。	<b>【訓練】</b> ①町会別集団避難訓練(12町会参加) ②地震体験訓練 ③初期消火訓練・煙体験訓練 ④応急救護訓練(AED、三角巾) ⑤水防訓練(土嚢作成、土嚢積み工法) ⑥要配慮者防災体験訓練(外国籍市内居住者) <b>【啓発】</b> ①風水害マイタイムライン作成 ②在宅避難啓発 ③備蓄のすすめ ④防災資器材展示 ⑤防災車両展示	<b>【成果】</b> 総合防災訓練は避難所で実施するものという固定概念が多かったが、一時避難場所で12町会合同で総合防災訓練を実施することで、自分の身は自分で守り、地域で地域を守る、ということがより身近に感じることができた。地域で地域を守る、ということがより身近に感じることができた。地域で地域を守る、ということがより身近に感じることができた。地域で地域を守る、ということがより身近に感じることができた。 外国籍の方が実際に地震体験など防災訓練を体験することで、要配慮者に防災について考えるきっかけを提供できた。 <b>【反省点】</b> アンケート調査などを実施しなかったため、区民の防災意識等の分析を行うことができなかった。 <b>【今後の取組】</b> 今回はより地域に密着した訓練を実施することで、地域の関係性を構築することができた。現在は単体で開催している各自主防災組織の訓練を複数の自主防災組織合同で開催するなど、町会やマンションという単位ではなく、地域や地区として防災に取り組み作りを実施していく。
	 初期消火訓練・煙体験訓練	 応急救護訓練 (AED、三角巾)	 水防訓練 (土嚢作成、土嚢積み工法)	 要配慮者防災体験 (外国籍市内居住者)
<b>第2回</b> <b>【日時】</b> (1)ちびっこぼうさいがっこう (避難所開設訓練含む) 令和7年11月8日(土) 12時00分～15時00分 (2)なかはらまるまる防災博 令和7年11月8日(土) 9時00分～16時00分 (3)おうちでできるぼうさい訓練 令和7年11月1日～16日 <b>【会場】</b> (1)小杉小学校 (2)こすぎコアパーク (3)自宅など好きな場所で	令和6年度車座集会で意見があった、「防災訓練への参加のハードルが高い」、「必要な訓練が人それぞれに異なる」、「という課題を解決するために、それぞれの家庭でできる訓練や未就学児が楽しみながら防災を体験するなど、多様な訓練機会を提供し防災について考える「きっかけ」を多くの区民に届けることで防災意識の向上を図る。 武蔵小杉駅前イベントを開催することで、より多くの人に防災に触れてもらい在宅避難や備蓄についての意識向上を図る。	<b>【訓練】</b> (1)①体験型訓練(在宅避難グッズなあに?クイズ、ぼうさい紙芝居、毛布で担架タイムトライアル) ②避難所開設訓練(マンホールトイレ設置) ③トイレ対策訓練(最終ます確認) ④防災資器材取り扱い訓練 (2)リーフレット配布による各家庭での訓練 家具転倒防止の確認・子どもを守るためのグッズ・備蓄物資の確認・家族連絡先の確認 <b>【啓発】</b> (1)マンホールトイレの啓発 (2)①防災資器材展示・販売 ②防災車両展示・防災車両体験乗車 ③近隣商業施設で防災物品の販売 (1)(2)(3)在宅避難・ローリングストックについて	<b>【成果】</b> 誰もが気軽に参加できるよう、防災訓練参加のハードルを下げたことで、訓練に参加経験のない多くの方に参加いただき、比較的若い世代に防災について考えるきっかけを提供できた。地域の民間企業や団体と協働して「なかはらまるまる防災博」を開催することで効果的な啓発ができた。子育て世代をターゲットにして作成したリーフレットを配布した「おうちでできる防災訓練」は、子どもに関する物資やトイレ関係の物資の備蓄につなげることができた。今回のリーフレットやイベントは大変参考になったという声が多く、ターゲットを絞った訓練は効果があることが確認できた。 <b>【反省点】</b> ちびっこぼうさいがっこう(小杉小学校)となかはらまるまる防災博(こすぎコアパーク)の開催場所が離れていたため、参加者が分散する時間帯ができてしまった。 <b>【今後の取組】</b> 地域の特性に合った訓練や啓発を実施し、中原区の防災意識の向上を図る取組を実施する。ターゲットを変更することでより多くの方に防災の考え方が届けられよう工夫し、新しい防災訓練を継続する。	
 ちびっこぼうさいがっこう	 ちびっこぼうさいがっこう	 ちびっこぼうさいがっこう	 なかはらまるまる防災博	 おうちでできるぼうさい訓練

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
高津区	第1回	<p>【日時】 令和7年11月29日(土) 9時00分～10時50分</p> <p>【会場】 久本小学校</p>	<p>区民一人一人の防災意識の高揚を図るとともに、地域と行政、各防災関係機関・団体が互いに連携協力して地域防災力の強化を図ることを目的とする。</p>	<p>【訓練】 ①市民参加型訓練 (情報伝達・避難訓練、応急給水拠点開設訓練、煙体験、起震車体験、水防工法訓練、応急救護訓練、マンホールトイレ組立訓練、ペット同行避難訓練) ②避難所開設・運営訓練 ③救出救護訓練</p> <p>【啓発】 ①在宅避難啓発 ②災害時のトイレ対策啓発 ③火災予防広報 ④防犯広報 ⑤災害派遣パネル展示 ⑥災害ボランティア啓発 ⑦ローリングストック啓発 ⑧感震ブレーカー・電気自動車展示 ⑨防災用品展示 ⑩避難所での衛生管理啓発</p>	<p>【成果】 今回で24回目を迎えた高津地区防災訓練は、約800人が参加し、従来の訓練・啓発に加え、マンホールトイレの組立訓練や、在宅避難及び災害時のトイレ対策の啓発を新たに実施した。また、訓練に参加した高津区身体障害者協会や外国人住民との意見交換を通じて、避難所のバリアフリー環境の不足、健常者と障害者が相互理解できる場の創設要望、ピクトグラムや英語表記の少なさといった課題や御提案をいただいた良い訓練となった。</p> <p>【反省点】 避難所開設・運営訓練として、資器材の取り扱いや最終までの確認等の実働訓練を実施したものの、プログラム後半は資器材展示の啓発型訓練が中心となった点が今後の改善点である。</p> <p>【今後の取組】 自主防災組織、学校関係者、参加団体及び実行委員会の意見を参考に、避難所開設・運営訓練の内容をより実践的なものとし、地域防災力のさらなる強化を目指す。</p>
		    	<p>応急給水拠点開設訓練</p> <p>マンホールトイレ組立訓練</p> <p>避難所開設・運営訓練</p> <p>救出救護訓練</p> <p>在宅避難啓発</p>		
	第2回	<p>【日時】 令和8年3月1日(日) 10時00分～12時00分</p> <p>【会場】 橘小学校</p>	<p>防火・防災意識の啓発・高揚と、災害時における基礎的な技術の習得を目指し、地域住民が参加した実践的な訓練を実施する。</p> <p>また、訓練参加者が、各町内会・自治会で行う実践的な訓練を行えるための一助につなげるとともに、地域防災意識の高揚を目指す。</p>	<p>【訓練】 ①市民参加型訓練 (情報伝達・避難訓練、初期消火・放水訓練、煙体験、起震車体験、水防工法訓練、給水訓練、応急救護訓練、仮設トイレ組立訓練、自然災害体験訓練(VR)、防災食給食訓練) ②避難所開設・運営訓練 ③消防団操法・放水訓練</p> <p>【啓発】 ①災害時のトイレ対策啓発 ②火災予防広報 ③防犯広報 ④災害派遣パネル展示 ⑤災害ボランティア啓発 ⑦LPガス啓発 ⑧感震ブレーカー・電気自動車展示 ⑨避難所での口腔ケア啓発 ⑩避難所での衛生管理啓発 ⑪土砂災害ハザードマップ・空き家対策啓発</p>	<p>【成果】 今年で49回目を迎えた橘地区自主防火防災訓練は、約800人が参加し、区役所栄養士の指導による防災食給食訓練、避難所開設時の避難者受入訓練やプライベートルーム等の組立訓練等、地域住民と行政がアイデアを出し合って行った実践的な訓練を盛り込んだ良い訓練となった。</p> <p>【反省点】 当日は、多くの自主防災組織や地域住民の方々に参加していただいたが、学校関係者と連携した訓練が少なかったことから、総合的な訓練としてはさらなる検討・工夫が必要であった。</p> <p>【今後の取組み】 各町内会・自治会関係者だけでなく、学校関係者も訓練内容の企画段階から参加するよう働きかけ、地域・行政・学校が連携した実践的な訓練を実施することにより、地域防災力の強化を目指す。</p>
		    	<p>初期消火訓練</p> <p>防災食給食訓練</p> <p>避難所開設・運営訓練</p> <p>消防団操法・放水訓練</p> <p>災害時のトイレ対策啓発</p>		

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
宮前区	第1回	<p>【日時】 令和7年11月30日(日) 8時45分～11時45分</p> <p>【会場】 菅生中学校</p>	<p>川崎市直下型地震等の地震災害の発生に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、市民、自主防災組織、企業、市及び防災関係機関等が迅速な初動活動と災害応急対策を確立するために、市民の防災意識の高揚及び地域防災力の強化を図る。</p>	<p>【訓練】 ①避難所開設・運営訓練 ②体験型訓練(応急給水拠点訓練、地震体験、防火服装着体験(ちびっこ防火服)、初期消火訓練、ロープワーク訓練、煙体験、倒壊重量物排除と応急担架搬送訓練、土嚢積み訓練、負傷者の救出訓練、応急救護訓練、VR浸水害体験、要配慮者疑似体験) ③区役所職員向け避難所開設・運営訓練(情報伝達・トイレ確認・ベット受入)</p> <p>【啓発】 ①車両展示 ②消防署・消防団について ③指定避難所の防災資器材展示 ④災害時のトイレ対策啓発 ⑤Net119啓発 ⑥災害時の警察の役割紹介 ⑦女性の視点からの避難所啓発 ⑧震災時のごみ啓発 ⑨災害時のペット啓発 ⑩災害時のお薬啓発 ⑪看護師による震災時の備え啓発 ⑫防災用品の展示及び宮前区自主防災組織連絡協議会事業の紹介 ⑬災害ボランティアセンター啓発 ⑭菅生中学校校区地域教育会議の防災の取り組み ⑮外国人の支援啓発 ⑯震災時の建設業会の役割紹介 ⑰聴覚障害者に対しての各種訓練の案内</p>	<p>【成果】 事前に発災直後の避難所開設について避難所運営会議で検討し、図上訓練や実地訓練を重ねたことで、避難所開設の具体的なイメージを持って当日の訓練に臨むことができた。また、地域の自主防災組織だけでなく、教員や会場校を担当する市職員が会議や訓練に参加し、避難所に関する共通認識を持つことができた。 区役所職員がトイレの使用可否の確認手順や携帯トイレの使用方法を学ぶことで、発災時のトイレ問題への対応力を向上させることができた。 ペット防災について、避難所での受入のシミュレーション訓練や啓発ブースの出展に加え、ベットスペースの展示を行い、参加者の理解を深めることができた。 参加者からは「楽しみながら子どもと学ぶことができた」「思ったより楽しかった(小学生)」、「避難所開設訓練がとても参考になった」等の意見をいただいた。</p> <p>【反省点】 参加者が例年より少なく、アンケートにも「もっと参加して欲しい」との意見が多数あり、広報に課題が残った。</p> <p>【今後の取組】 より多くの参加を促すよう、訴求力のある効果的な広報手法を検討する。また、災害時のトイレ対策について、避難所により進捗状況に差があることから、平準化を図っていく。</p>
		 <p>避難所開設・運営訓練</p>  <p>ロープワーク訓練</p>  <p>車両展示</p>  <p>災害時のトイレ対策啓発</p>  <p>災害時のペット啓発</p>			
	第2回	<p>【日時】 令和8年2月8日(日) 8時45分～11時45分</p> <p>【会場】 宮崎台小学校</p>	<p>衆議院議員総選挙の投開票日と重なったため、中止となりました。</p>		

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
多摩区	第1回	<p>【日時】 令和7年11月16日(日) 10時00分～12時00分</p> <p>【会場】 Anker フロントウン生田</p>	地震発生に伴う公共交通機関の運行停止により、主要駅を中心に多数の帰宅困難者の発生が予想されることから、帰宅困難者の安全確保、交通渋滞の緩和を目的に帰宅困難者対応訓練を実施	<p>【訓練】</p> <p>①帰宅困難者一時滞在施設開設・受入訓練 ②情報伝達訓練</p> <p>【啓発】</p> <p>①災害時のトイレ啓発 ②応急給水拠点啓発 ③消防、消防団の広報・啓発 ④車両展示(消防、警察)</p>	<p>【成果】</p> <p>発災直後を想定し、施設の開錠から受入準備までの一連の手順を実践することで、限られた人員や時間の中においても、帰宅困難者一時滞在施設を速やかに開設できる初動体制を確認した。あわせて、受付対応、名簿作成、滞在スペースへの誘導等の受入手順を実施することで、混乱を最小限に抑えるための動線等を把握することができた。さらに、施設管理者、区職員の役割分担を確認し、対応体制について関係者間で共通認識を図ることができた。</p> <p>【反省点】</p> <p>帰宅困難者の受付時に待機列が長くなるなど、受け入れ全体の流れが滞る恐れがあることが分かった。受付業務の役割分担や記入を後から行う方法を取り入れるなど、混雑時の対応力を高める余地がある。また、要配慮者(高齢者、障がい者、外国人、子ども連れ等)への対応を想定した内容となっておらず、受付時の把握方法や多言語対応等について、実践的な検証が十分行えなかった。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>受付時の混雑による受け入れ全体の停滞を防止するため、受付業務の見直しを図り、混雑時における対応力の向上を図る。</p> <p>要配慮者(高齢者、障がい者、外国人、子ども連れ等)への対応を訓練に組み込み、受付時の把握方法や優先的な誘導、多言語による案内、滞在スペースにおける配慮事項について、より実践的な取組を行う。</p>
		  <p>帰宅困難者一時滞在施設開設・受入訓練</p>   <p>災害時のトイレ啓発</p>  <p>車両展示</p>			
	第2回	<p>【日時】 令和8年1月31日(土) 8時00分～12時00分</p> <p>【会場】 稲田小学校</p>	震災に備え、自助・共助・公助の理念に基づき、自主防災組織、企業、市民及び防災関係機関等が連携して、迅速な初動活動を確立するため、避難所の開設、トイレ対策等を重点とした訓練を実施	<p>【訓練】</p> <p>①避難所開設・運営訓練 ②トイレの最終まです確認訓練 ③開設型応急給水拠点開設訓練 ④地震疑似体験 ⑤土のう作製・積み上げ訓練</p> <p>【啓発】</p> <p>①防災ラジオ啓発</p>	<p>【成果】</p> <p>避難所開設について、地域住民が主体的となっていくことができる段階に十分に至っていないことが分かった。一方で、開設に至るまでの具体的な作業内容や流れを共有することができ、災害発生時における初動対応力の向上につながった。</p> <p>会場となる稲田小学校のわくわくプラザを利用する児童にも参加いただくことで、訓練を通じて防災への関心や理解を深める機会を提供することができた。次世代を担う子どもたちに対し、日常生活の中で防災を身近に考える「防災の種」をまく取組となった。</p> <p>【反省点】</p> <p>避難所開設・運営訓練は、行政主導で実施され、地域住民が主体的に開設する段階までには至っておらず、発災時における地域主体の避難所運営を想定した実践的な訓練とするには、課題が残る結果となった。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>行政主導から地域主体へと段階的に移行し、地域住民が自立して避難所運営を行えるよう、より実践的な訓練内容に改善していく。</p>
		 <p>避難所開設・運営訓練</p>  <p>トイレの最終まです確認訓練</p>  <p>開設型応急給水拠点開設訓練</p>  <p>地震疑似体験</p>  <p>土のう作製・積み上げ訓練</p>			

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

		日時・場所	目的	内容	成果及び反省点
麻生区	第1回	<p>【日時】 令和7年11月15日(土) 16時00分～翌8時30分</p> <p>【会場】 南百合丘小学校</p>	<p>区内の避難所運営会議関係者等を対象に、避難者が担う役割の確認や備蓄物資の内容、資器材の操作方法等を学ぶと共に避難所生活を疑似体験することを通じ、避難所運営上の課題や限界を把握し在宅避難の必要性への理解を深め、家庭における備えを見直す契機とすることを目的とする。</p>	<p>【訓練】</p> <p>①避難所開設訓練（施設安全確認＜電気・水道・トイレの使用可否＞、避難所開設準備＜受付設置、案内表示、発電機の始動＞、避難者受け入れ＜模擬避難者の受付＞、物資確認・配布＜防災倉庫確認、参加者への配布＞） ②避難所運営訓練（避難者対応＜居住スペースのゾーン分け＞、生活環境整備＜トイレ・ゴミ管理＞、情報共有手段確認＜連絡手段の確保、掲示板の設置＞） ③災害時のトイレ訓練（携帯トイレの設置、配管点検） ④宿泊訓練（非常発電機操作、炊飯訓練、寝床作成訓練） ⑤要配慮者支援訓練（器具を使った疑似体験）</p> <p>【啓発】</p> <p>①防災講話（講師：元防災科学技術研究所研究員） ②能登地震の被災地派遣講話（区役所職員）</p>	<p>【成果】</p> <p>本訓練では、これまで避難所運営会議において個別に実施してきた取組を、避難所開設から運営、宿泊に至る一連の流れの中で確認することができた。これにより、参加者からは、実災害時の活動をより具体的にイメージすることができたとの意見があり、避難所運営会議の今後の活動に向けた意欲向上につながった。また、災害時の避難所トイレ訓練を実施したことで、避難所開設初期における排水管の点検、トイレの封鎖、携帯トイレの準備等、トイレ対策の重要性を周知することができた。さらに、体育館での宿泊訓練を地域住民を対象に実施したことにより、避難所となる学校の防災設備や備蓄物資について理解を深めるとともに、宿泊時の負担を軽減するため、日頃から家庭で必要な物品を備えておくことの重要性を認識する機会となった。要配慮者支援訓練では、訓練用器具を用いた疑似体験を通じて、支援のポイントや適切な声掛け方法について理解を深めることができた。</p> <p>【反省点】</p> <p>避難所運営会議関係者との事前調整により、エリアや対象を限定した実践型訓練として実施したことから、訓練参加者の確保に苦慮する結果となった。今後は、訓練の目的や内容が地域住民により伝わるよう、周知方法や参加対象の設定について改善を図る必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>地域の実情に応じた効果的な訓練とするため、自主防災組織や避難所運営会議等の防災関係者と連携し、訓練の時期や内容について事前に十分な調整を行っていく。引き続き、実践的な訓練を継続することで、避難所運営力の向上を図るとともに、在宅避難を含めた多様な避難行動への理解促進につなげていく。</p>
	第2回	<p>【日時】 令和7年12月15日(土) 10時00分～15時00分</p> <p>【会場】 ミズノフットサルプラザ新百合ヶ丘 新百合ヶ丘駅南口ペDESTリアンデッキ</p>	<p>本訓練は、「備えるフェスタ2025 in 新百合ヶ丘」と連動した麻生区総合防災訓練として、市・関係団体・地域が連携し、防災に関する取組や知識を広く共有することを目的とする。平時からの備えを災害時に活かす「フェーズフリー」の考え方を普及させ、市民一人ひとりの防災意識の向上と家庭における備えの促進を図る。</p>	<p>【訓練】</p> <p>①GENSAI迷路 ②倒壊家屋からの救出訓練 ③ロープワーク体験 ④AED訓練、心肺蘇生法、止血法 ⑤ロープ渡過体験訓練 ⑥自衛隊による炊き出し訓練</p> <p>【啓発】</p> <p>①防災ストラックアウト ②親子で防災ジャンボカルタ③災害対応車両の展示 ④はしご車搭乗体験 ⑤地震車による地震体験 ⑥災害時のトイレ関連啓発 ⑦応急給水拠点の啓発 ⑧住宅・耐震・盛土・ハザードマップ等の啓発 ⑨麻生区自主防災組織連絡協議会による防災ゲーム ⑩小中学校による防災授業の発表 ⑪備蓄食品の展示及び試食体験 ⑫医療・衛生分野の防災啓発（感染症対策等） ⑬ペット防災啓発 ⑭要配慮者支援の啓発 ⑮災害ボランティアセンター啓発 ⑯防災アプリ・シールラリー 他</p>	<p>【成果】</p> <p>本訓練は、「備えるフェスタ」と連動した麻生区総合防災訓練として、ミズノフットサルプラザ新百合ヶ丘及び新百合ヶ丘駅前の2会場で実施し、特に、在宅避難をテーマとしたトイレ対策に重点を置いたことで、これまで防災訓練に参加した経験が比較的少ない層や子育て世代に、災害時の備えの重要性を効果的に伝えることができた。ミズノフットサルプラザ新百合ヶ丘会場では、体験型訓練を中心に、炊き出し訓練や防災車両展示等を通じ、災害時に自分や周囲の人を守り助ける方法をはじめ、関係機関の支援活動や役割について理解を深める機会を提供することができた。さらに、小中学生による防災授業の発表や防災ゲーム等の親子で防災に関わる場を設けることにより、多様な世代に防災意識を醸成することにつながった。</p> <p>また、ペDESTリアンデッキ会場では、一般の買物客などの通行も多い立地を活かした啓発活動を展開し、避難所に依存しない多様な備えの在り方について理解を促す機会となった。また、防災クイズやシールラリーを活用した回遊型の企画により、複数のブースで幅広い防災情報に触れる機会を創出することができた。加えて、訓練全体を通じた成果として、自主防災組織や関係団体が運営に関わったことにより、地域主体で防災運営を行う足掛かりが得られた。</p> <p>【反省点】</p> <p>今後も、多くの区民が集まる機会を積極的に活用し、防災訓練に参加する機会が少ない層に対する効果的な訓練・啓発を継続していく必要があるが、在宅避難を前提とした備えについて、来場者が具体的な行動に結び付けられるよう、体験内容や情報提供の工夫が必要となる。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>地域における自主防災組織主体の訓練でも、自助・共助の取組等の啓発を進めていくことにより、在宅避難を含めた多様な避難行動の理解促進と、地域全体の防災力向上を図っていく。</p>



避難所開設訓練



災害時のトイレ訓練



宿泊訓練



防災講話



倒壊家屋からの救出訓練



ロープ渡過体験訓練



自衛隊による炊き出し訓練



災害時のトイレ関連啓発



麻生区自主防災組織連絡協議会による防災ゲーム 小中学校による防災授業の発表



# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

## (3) その他の訓練

市（危機管理本部）において、川崎市地域防災計画・マニュアル等に基づいた全庁的な訓練を主体的に計画し、防災関係機関を含めた相互連携に留意した訓練を実施しました。

### ア 全庁的な訓練

#### (ア) 風水害図上訓練 令和7年5月19日（月）・22日（木）

令和6年度の台風第7号・第10号における実災害対応において課題となった、避難所運営支援要員の動員に係る危機管理本部・本庁各局及び各区役所間の調整連絡、動員発令の判断、市民向け広報等を重点項目として、台風上陸3日前、台風上陸1日前のフェーズでそれぞれ必要な対応について訓練を実施しました。

##### 《成果・課題等》

令和6年度の実災害対応をもとに見直した避難所運営支援要員を動員する際の連絡・調整の流れについて、本庁各局への説明会と実作業を併せた形で習熟を図ったことに加え、市民向け広報の演習に重点を置き、台風上陸3日前から1日前までの間の訓練想定に沿った形でSNSへの模擬投稿等を実施することにより、実災害時にも応用可能な発信原稿を蓄積する等の成果を得ました。風水害については、令和8年5月以降に気象庁からの防災気象情報の体系が大きく変わる予定のため、今後の訓練を通じて避難指示等の判断や情報発信の方法等を庁内で共有していく必要があります。

#### (イ) 第13回九都県市合同防災訓練・図上訓練 令和8年1月14日（水）

大規模地震によって甚大な被害が発生したとの想定のもと、発災3日目における市災害対策本部の災害対応能力の強化を目的として実施しました。本訓練は、「九都県市災害時相互応援に関する協定」に基づき、神奈川県、横浜市及び相模原市と合同で実施し、自治体間相互の情報共有及び連携調整に特に重点を置いて取り組みました。

##### 《成果・課題等》

神奈川県との被害情報の共有や帰宅困難者に関する情報交換をはじめ、国からのプッシュ型支援に関して、神奈川県、横浜市及び相模原市とテレビ会議形式による資源配分調整会議の場面を初実施するなど、自治体間の連携に取り組みました。また、自衛隊や警察との間で応援部隊の配置調整、ライフライン関係機関との間でライフライン復旧や代替手段の確保に向けた調整を行いました。資源配分調整会議は、交通手段の途絶を想定し、4県市でテレビ会議形式で試行しましたが、会議の進め方や機材の取扱い等について自治体間で調整し改善していく必要があります。

#### (ウ) 市長緊急登庁訓練・災害対策本部初動対応訓練 令和8年1月30日（金）

出勤時間帯に大地震が発生したとの想定のもと、発災初期段階における参集・初動対応能力のさらなる向上を目的として、市長の緊急登庁訓練及びブラインド形式による職員の安否確認及び災害対策本部の初動対応訓練を実施しました。地震発生（訓練開始）と共に、消防局の車両とヘリコプターが連携し、市長が本庁舎に到着するまでの動きを実際に行うとともに、それぞれの参集先に到着した職員が災害対策本部体制を上げ、状況付与に対応する形で第1回災害対策本部会議を開催するまでの活動を行いました。

##### 《成果・課題等》

市長緊急登庁訓練については、民間病院の協力のもと、同病院を経由するルートでの訓練を初めて実施し、発災時のヘリによる緊急登庁の手順の確認ができました。また、災害対策本部初動対応訓練では、発災後約1時間で第1回災害対策本部会議を実施するまでの活動をリアルタイムで行い、局区長をはじめとする主担当者が不在の場合は代理者が適正な対応をとることができる体制を確認しました。実際の発災時は、さらに混乱した状況となることが想定されることから、今後も第1回目の会議をいかに早く開催できるかを追求しつつ、「重要施設の被災状況」や「職員の参集状況」など、限られた時間において、初動段階でやるべき事項の明確化や、会議の報告の在り方としても、「特に優先順位が高い情報」を選択・絞り込むことについて意識合わせを行ってまいります。

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

## イ 各部・区本部における訓練

地域防災計画・業務継続計画等に定める各部・区本部の分掌事務に基づき、それぞれの細部計画、マニュアル等の検証・見直しを図るとともに、職員の災害対応能力の向上、意識の高揚を図るため、各部・区本部ごとに、それぞれ独自の訓練を計画し実施する。

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
総務企画局	総務企画部情報伝達訓練	総務企画局	令和7年11月7日	510
総務企画局	総務企画部運営訓練	総務企画局	令和8年1月30日	379
財政局	防災行政無線電話使用訓練	財政局	令和7年10月8日 令和7年11月12日	12
市民文化局	令和7年度 市民文化局 災害対応初動訓練（職員向けメール配信システム訓練）	市民文化局	令和7年11月18日	170
市民文化局	令和7年度 市民文化局 災害対応初動訓練（総合防災情報システム訓練）	市民文化局	令和7年11月18日	12
経済労働局	令和7年度 経済労働局防災訓練 情報伝達訓練	経済労働局	令和7年4月12日	188
環境局	バンカー火災訓練回転破砕機・剪断破砕機火災訓練	浮島処理センター、 委託事業者（粗大ごみ処理施設関係者）	令和7年5月30日	27
環境局	消防避難訓練	川崎生命科学・環境研究センター防災センター、環境総合研究所、川崎生命科学・環境研究センター防火管理協議会	令和7年12月5日	30
健康福祉局	保健医療調整本部安否・参集状況確認訓練	健康福祉局	令和7年5月15日 令和7年6月27日 令和7年10月24日 令和8年1月29日	348
健康福祉局	局内全職員安否等確認訓練	健康福祉局	令和7年6月27日 令和7年10月24日	1,332
健康福祉局	北部地域支援室夜間休日発災時初動訓練	北部地域支援室	令和7年7月30日	19
健康福祉局	災害時高齢者・障害者施設等情報共有システム等を使用した情報伝達訓練	健康福祉局、川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会、川崎市老人福祉施設事業協会、川崎市介護老人保健福祉連絡協議会、川崎市障害福祉施設事業協会	令和7年7月31日	82
健康福祉局	災害時病院連携訓練（北・南部医療圏）	健康福祉局、市内病院（北・南部医療圏）	令和7年12月7日	300
健康福祉局	動物救援本部立上げ・運営訓練	健康福祉局、公益社団法人川崎市獣医師会	令和7年12月18日	89
健康福祉局	災害福祉調整本部訓練	健康福祉局	令和8年2月1日	20

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
健康福祉局	保健医療調整本部訓練	健康福祉局	令和8年2月1日	45
こども未来局	令和7年度災害時情報共有システム訓練及びL o G o フォームによる「災害時情報伝達訓練」	こども未来局、施設事業者	令和7年8月4日 令和7年10月24日	296
こども未来局	職員向けメール配信システムの情報伝達訓練	こども未来局	令和7年8月24日	946
まちづくり局	令和7年度建築物応急危険度判定実施本部訓練	まちづくり局	令和7年7月1日 令和7年7月4日	14
まちづくり局	令和7年度被災建築物応急危険度判定連絡訓練	まちづくり局、(一社)神奈川県建築士会川崎支部、(一社)神奈川県建築士事務所協会川崎支部、川崎住宅管理保全建築協同組合、協同組合川崎市建築家の会	令和7年9月2日～ 令和7年9月4日	29
まちづくり局	令和7年度復興都市づくり訓練	まちづくり局	令和7年12月2日	20
建設緑政局	建設緑政事業 震災時の道路巡回等実施訓練	建設緑政局、各区役所道路公園センター、港湾局、上下水道局	令和7年5月27日	90
建設緑政局	建設緑政事業 風水害対応訓練	建設緑政局、各区役所道路公園センター、上下水道局	令和7年7月22日～25日	150
臨海部国際戦略本部	令和7年度災害時参集訓練	臨海部国際戦略本部	令和7年11月14日～ 令和8年1月23日	55
危機管理本部	風水害図上訓練	各局(本部)室区の災害対策本部要員	令和7年5月19日 令和7年5月22日	120
危機管理本部	地下街等との情報伝達訓練	川崎アゼリア等地下街施設、危機管理本部	令和7年6月6日	4
危機管理本部	令和7年度 川崎市総合防災訓練(第46回 九都県市合同防災訓練)	川崎総合科学高等学校避難所運営会議、一般市民、関係機関・団体、市職員	令和7年8月31日	800
危機管理本部	津波避難訓練	渡田小学校避難所運営会議、周辺住民、川崎区役所、危機管理本部	令和7年10月4日	180
危機管理本部	第13回九都県市合同防災訓練・図上訓練	各局本部(室)区の災害対策本部要員、陸上自衛隊、神奈川県警察、ライフライン関係機関	令和8年1月14日	110
危機管理本部	市長緊急登庁訓練・災害対策本部初動対応訓練	各局本部(室)区の災害対策本部要員	令和8年1月30日	370
危機管理本部	令和7年度川崎駅周辺帰宅困難者等対策訓練	JR川崎駅、京急川崎駅、川崎駅周辺帰宅困難者一時滞在施設、危機管理本部、川崎区役所、幸区役所	令和8年2月6日	51
危機管理本部	令和7年度川崎臨海部広域防災訓練(図上訓練)	危機管理本部、臨海部国際戦略本部、消防局 川崎臨海部防災協議会、海上保安庁	令和8年2月13日	33

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部(室)区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

## 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
会計室	令和7年度会計室防災訓練	会計室	令和7年11月21日	8
川崎区役所	令和7年度川崎区初動対応支援職員訓練	区初動対応支援職員	令和7年5月27日～ 令和7年8月1日	7
川崎区役所	令和7年度被災者支援班訓練（HUG・ブラインド訓練）	川崎区役所	令和7年6月5日～ 令和7年6月11日	40
川崎区役所	令和7年度川崎区役所職員災害時安否確認訓練	川崎区役所	令和7年6月17日 令和7年12月2日	980
川崎区役所	令和7年度第1回川崎区総合防災訓練・津波避難訓練	渡田小学校避難所運営会議、被災者支援班員、 イトーヨーカドー川崎店	令和7年10月4日	508
川崎区役所	令和7年度第2回川崎区総合防災訓練	東大島小学校避難所運営会議、被災者支援班員	令和8年1月31日	433
川崎区役所	令和7年度避難所開設・運営訓練	各避難所運営会議、川崎区役所	令和7年10月～ 令和8年3月予定	837
幸区役所	令和7年度避難所開設・運営訓練	幸区役所	令和7年4月21日 令和7年4月24日	115
幸区役所	令和7年度幸区保健衛生・福祉班立上げ訓練	幸区役所	令和7年5月19日	28
幸区役所	令和7年度幸区災害対策本部開設訓練（初動対応）	区本部要員、区初動対応支援職員	令和7年5月23日	25
幸区役所	水防訓練	幸区役所、幸消防署	令和7年6月5日	25
幸区役所	令和7年度鹿島田・新川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練	幸区災害対策協議会帰宅困難者対策部会	令和7年12月16日	23
幸区役所	令和7年度区災害対策本部開設訓練（非常用発電設備）	区本部要員	令和8年1月22日	10
幸区役所	令和7年度幸区災害時保健衛生・福祉班活動訓練	幸区役所	令和8年1月25日	50
幸区役所	令和7年度第2回幸区総合防災訓練	幸区自主防災組織連絡協議会、幸区役所	令和8年2月1日	200
幸区役所	令和7年度幸区避難所開設・運営訓練	各避難所運営会議、幸区役所	令和7年8月～ 令和8年2月	800

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

## 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
中原区役所	令和7年度避難所開設・運営訓練	各避難所運営会議、中原区役所	令和7年5月～ 令和8年3月予定	1,000
中原区役所	令和7年水防訓練	中原消防署、中原区役所道路公園センター、 自主防災組織	令和7年5月11日	650
中原区役所	令和7年度第1回中原区総合防災訓練	中原区役所、中原区自主防災組織連絡協議会	令和7年5月11日	540
中原区役所	令和7年度災害時現地調整所設置訓練	中原警察署、中原消防署、中原区役所、JR東日本、 東急電鉄、グランツリー武蔵小杉	令和7年7月14日 令和7年10月29日 令和7年11月20日	490
中原区役所	令和7年度第2回中原区総合防災訓練	避難所運営会議、自主防災組織、未就学児世帯	令和7年11月1日～ 令和7年11月16日	11,720
中原区役所	保健衛生・福祉班訓練	中原区医師会、看護協会、DMAT、健康福祉局、 中原区本部、保健衛生・福祉班	令和7年12月14日	100
中原区役所	令和7年度中原区災害対策本部開設訓練	区本部要員	令和8年1月14日	20
高津区役所	令和7年度高津区災害対策本部設置・運用訓練	高津区役所、区初動対応支援職員	令和7年5月14日 令和7年10月1日 令和8年1月30日	75
高津区役所	風水害時避難所開設訓練	高津区役所	令和7年6月25日	37
高津区役所	避難所運営会議・訓練	地域住民、学校関係者、区被災者支援班 避難所運営要員	令和7年5月～ 令和8年3月予定	1,108
高津区役所	第24回高津地区防災訓練	高津区役所、地域住民、学校関係者、関係団体	令和7年11月29日	800
高津区役所	帰宅困難者対策訓練	鉄道事業者、一時滞在施設、高津区役所	令和7年12月17日	27
高津区役所	保健衛生・福祉班訓練	高津区役所、区内医療機関	令和8年1月25日	61
高津区役所	第49回橘地区自主防火防災訓練	高津区役所、地域住民、学校関係者、関係団体	令和8年3月1日	800
宮前区役所	避難所開設・運営訓練	宮前区役所、各避難所運営会議他	令和7年4月～ 令和8年2月	3,400
宮前区役所	宮前区災害対策本部運営訓練	宮前区役所	令和7年6月4日	50

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

# 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
宮前区役所	職員向けメール配信システムによる安否・参集訓練	宮前区役所	令和7年9月29日 令和8年1月30日	632
宮前区役所	第1回宮前区総合防災訓練	避難所運営会議、地域住民、宮前区役所	令和7年11月30日	290
宮前区役所	宮前区災害時保健医療福祉活動訓練 フェーズ0訓練	宮前区役所	令和8年1月14日	31
宮前区役所	宮前区災害時保健医療福祉活動訓練 フェーズ3訓練	宮前区役所、健康福祉局、宮前区医師会、 宮前区歯科医師会、宮前区薬剤師会、川崎市看護協会	令和8年1月18日	63
宮前区役所	帰宅困難者対策訓練	宮前区役所、 宮前区帰宅困難者対策用無線機設置施設職員、町内会	令和8年2月2日	17
宮前区役所	区役所と帰宅困難者対策用簡易無線機設置施設との通信訓練	宮前区役所、 宮前区帰宅困難者対策用簡易無線機設置施設	令和7年4月～ 令和8年3月予定	72
多摩区役所	区災害対策本部開設訓練	多摩区役所	令和7年8月27日	12
多摩区役所	避難所開設・運営訓練	多摩区役所、各避難所運営会議	令和7年9月～ 令和8年3月予定	662
多摩区役所	令和7年度第1回多摩区総合防災訓練	避難所運営会議、地域住民、多摩区役所	令和7年11月16日	300
多摩区役所	令和7年度第2回多摩区総合防災訓練	避難所運営会議、地域住民、多摩区役所	令和8年1月31日	150
多摩区役所	帰宅困難者対策用簡易無線機設置施設との通信訓練	多摩区役所、多摩区各帰宅困難者一時滞在施設	令和7年6月・9月・12月	20
麻生区役所	震災時区本部初動対応訓練	区役所から徒歩1時間圏内に居住する職員、 異動者、新規採用職員	令和7年4月28日	33
麻生区役所	緊急避難場所の現地確認（避難所開設確認訓練・防災行政無線通信訓練）	麻生区役所、小中学校	令和7年6月3日～ 令和7年7月4日	39
麻生区役所	帰宅困難者対策図上訓練	麻生区役所、小田急電鉄新百合ヶ丘駅、各一時滞在施設、 麻生警察署、小田急バス新百合ヶ丘営業所、交通局鷺ヶ峰 営業所麻生区商店街連合会、麻生区商店街連合会、イオン リテール株式会社イオンスタイル新百合ヶ丘店、ホテルモ リノ新百合丘	令和7年7月29日	19
麻生区役所	避難所開設・運営訓練	避難所運営会議、麻生区役所、避難所運営要員	令和7年9月16日～ 令和8年2月14日	516
麻生区役所	令和7年度区民防災塾（震災時トイレ初動対応訓練等）	麻生区役所、小学生の親子世帯	令和7年10月4日	76
麻生区役所	第1回麻生区総合防災訓練	避難所運営会議、自主防災組織、麻生区役所	令和7年11月15日～ 令和7年11月16日	116

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

## 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
麻生区役所	令和7年度備えるフェスタ・令和7年度第2回麻生区総合防災訓練	自主防災組織、一般市民、啓発団体、麻生区役所等	令和7年12月6日	14,040
麻生区役所	震災時り災証明書受付訓練	麻生区役所、麻生消防署	令和8年1月19日	23
上下水道局	個別参集確認訓練・情報伝達訓練	上下水道局	令和7年4月3日、4月9日、 11月26日、12月22日、12月23日	366
上下水道局	等々力緑地浸水対策簡易情報連絡訓練	上下水道局、中原区役所、建設緑政局、市民文化局、 とどろきパーク	令和7年4月4日	13
上下水道局	排水ポンプ車訓練	上下水道局、 各事務所下水道管内管きよ緊急工事受注事業者	令和7年4月25日 令和7年5月9日 令和7年5月23日 令和7年6月6日	238
上下水道局	令和7年度 等々力緑地浸水対策図上訓練	上下水道局、中原区役所、建設緑政局、市民文化局、 とどろきパーク	令和7年5月9日	21
上下水道局	上下水道局危機管理訓練（情報連絡訓練）	上下水道局	令和7年5月21日 令和7年10月15日	31
上下水道局	令和7年度 等々力緑地浸水対策実地訓練	上下水道局、中原区役所、建設緑政局、市民文化局、 とどろきパーク	令和7年5月26日	50
上下水道局	上下水道局危機管理研修（応急給水活動訓練）	上下水道局	令和7年5月28日	64
上下水道局	上下水道局相互応援訓練 （排水ポンプ車による排水活動訓練）	上下水道局	令和7年7月10日	39
上下水道局	19大都市情報伝達訓練	上下水道局、他18都市	令和7年7月16日	40
上下水道局	管工事業協同組合合同訓練	上下水道局、川崎市管工事業協同組合	令和7年8月28日	21
上下水道局	発災時受電体制訓練	上下水道局	令和7年9月29日	12
上下水道局	令和7年度関東地域工水協定情報伝達訓練	上下水道局、茨城県、千葉県、埼玉県、群馬県、 栃木県、横浜市	令和7年10月2日	7
上下水道局	札幌市・川崎市合同防災訓練	上下水道局、札幌市水道局	令和7年10月7日～ 令和7年10月9日	30
上下水道局	東京・川崎登戸連絡管水相互融通訓練	上下水道局、東京都水道局	令和7年10月23日	30
上下水道局	静岡市・川崎市合同防災訓練	上下水道局、静岡市上下水道局	令和7年11月5日～ 令和7年11月7日	30

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

## 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
上下水道局	重要医療機関等への応急給水訓練	上下水道局、健康福祉局、医療機関	令和7年11月19日 令和8年1月26日	50
上下水道局	市民向け応急給水訓練	上下水道局、川崎市管工事業協同組合、自主防災組織等	令和7年11月19日～ 令和8年3月22日予定	2,950
上下水道局	水質異常事態対応訓練	上下水道局	令和7年11月27日	23
上下水道局	初動対応訓練	上下水道局	令和7年11月28日 令和8年3月16日予定	20
上下水道局	東京・川崎町田連絡管水相互融通訓練	上下水道局、東京都水道局	令和7年12月8日	30
上下水道局	令和7年度 臨時給水用井戸開設訓練	上下水道局北部サービスセンター	令和7年12月10日	17
上下水道局	応急給水活動訓練	上下水道局南部サービスセンター	令和7年12月17日	17
上下水道局	《広報班》初動対応訓練	上下水道局	令和8年1月28日 令和8年1月30日	16
上下水道局	応急給水活動訓練	上下水道局中部サービスセンター	令和8年1月28日～ 令和8年1月30日	32
上下水道局	上下水道局発災時参集訓練	上下水道局	令和8年2月2日～ 令和8年3月11日予定	1,100
上下水道局	応急給水活動訓練	上下水道局北部サービスセンター	令和8年2月26日	23
病院局	令和7年度災害医療訓練	市立井田病院	令和7年11月29日	79
病院局	令和7年度緊急時連絡訓練	病院局	令和7年12月27日 令和8年1月31日	122
病院局	令和7年度院内災害時訓練	市立川崎病院	令和8年2月14日	119
消防局	本部警防訓練	消防局、DMAT	令和8年2月26日	200
教育委員会事務局	令和7年度川崎市立日本民家園防災訓練	日本民家園	令和7年6月27日 令和8年1月28日 令和8年2月26日 令和8年3月予定	77
教育委員会事務局	令和7年度文化財被災対応訓練	教育委員会事務局	令和8年2月2日	11

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。

## 令和7年度 川崎市防災訓練の実施結果について

部局名	訓練名	主な参加者	実施日	参加人数
監査事務局	安否確認訓練	監査事務局	令和7年5月23日	23
人事委員会事務局	人事委員会事務局災害対応初動訓練	人事委員会事務局	令和8年1月30日	19
議会局	安否確認メール訓練	市議会議員、議会局	令和7年9月1日 令和8年3月予定	104
議会局	令和7年度川崎市議会災害対応訓練	市議会議員、控室職員、議会局	令和7年11月28日	108

※本資料に記載している訓練は、令和8年3月1日までに各局本部（室）区が主催した訓練又は共催として参加した訓練としております。